



↑松浦保育園には、アイテレビのマスコットキャラクター『アイアイくん』も助っ人として登場



↑抽選券付きの豆は20分で完売。落花生1年分などが当たる抽選会は、大いに盛り上がりました



↑多くのギャラリーが待ち構える中、午年生まれの年男と年女が豪快に豆をまきました



↑火の用心のぬり絵をバックに、キュートくと一緒に記念撮影をする松浦保育園児



↑火遊び鬼がくれた『火の用心お散歩ロープ』を持ちポーズを決めて写真に納まる南波多保育園児



↑手作りのお面を被った大川保育園児と火遊び鬼は、豆まきの後すっきり仲良しになりました



かな節分の日となりました。

また、同じく節分の日には、伊万里神社では『午年生まれのお会』の節分祭がありました。これは今年

2月3日、市内14の保育園や幼稚園で、幼年消防クラブふれあい



↑南波多保育園の背後に回り込む連携のとれた豆まきに火遊び鬼もお手上げてした



↑運動場の端まで追いかけて回されながらも、そこから頑張って豆をまいて反撃する松浦保育園児



↑大川保育園児の「火遊びはしません」の掛け声に勇気百倍のキュートくとタジタジの火遊び鬼

人のうごき

平成26年2月1日現在	
●人口	57,313人 (ー 2)
●男	27,417人 (ー 1)
●女	29,896人 (ー 1)
●世帯	22,578世帯 (+ 28)
	() は前月比

広報伊万里 2014-3

●発行日/平成26年3月1日
 ●発行編集/伊万里市情報広報課広報係
 (0955)23-4313 (ダイヤルイン)
 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
 ●伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
 ●印刷/山口印刷株式会社

以前読んだ新聞記事の中に心奪われたものがありました。それは、小学校の『りかのてすと』で札幌のある少女が、『ゆきはとけてなんになりますか』の問いに『つちがでてはるになります』と答えたというものです。残念ながらテスト的には不正解だったそうですが、雪国らしく春を待つ期待感や豊かな感受性が織りなしたであろう、心にポツと明かりを灯してくれたこの答えに、私は大正解を与えたいです。子どもの感性は宝物ですね。さて、全国的に大雪を降らすなど冬將軍のいたずらがちよつと過ぎた2月も終わりに、いよいよ春がやってきました。私も熱烈な『春待ち人』のひとりですが、最近、温暖化の影響からか、季節感が薄らぎ春が短く夏がすぐ来てしまうような気がします。でも、なぜ春を短く感じてしまふのかよく考えてみたところ、例えば『満開の桜』などといった『大きな春』ばかりに注目していたせいではないかと思うようになりました。童謡『小さい秋見つけた』に習い、この春は、『小さい春』を見つけてながら過ごしてみたいと思っています。そうして少しでも春を長く感じられたらいいですね。(友)

編集室から